

会 議 録

名 称	令和3年度第5回目黒区男女平等・共同参画審議会
日 時	令和4年1月26日（水） 午後3時～午後4時30分
会 場	オンライン開催（目黒区総合庁舎4階 特別会議室）
出席者	（委員）岩田、神尾、小出、小林、田中、薬師、片渕、久保、郡、佐藤、石尾、菅原、田島、渡辺 （区側）総務部長、人権政策課長、事務局
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・改定計画案（案） ・パブリックコメント実施結果（案） ・改定計画素案からの主な変更内容一覧 ・改定計画案【概要版】（案）
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 改定計画案（案）について 3 その他 4 閉会
会議の結果及び主要な発言	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・定足数、傍聴者の確認 ・資料確認 2 改定計画案（案）について <p>人権政策課長がパブリックコメントの内容や検討結果、改定計画素案からの主な変更点、改定計画案【概要版】について配布資料を基に説明し、意見交換を行った。</p> <p>（委員） P59事業番号122（事業者等との協働事業の実施）について、現行計画からそうであったが、事業概要には「NPO法人や大学等」と記載されており、「等」とは記載されているが、企業などの一般的な事業者について記載されていないのはなぜだろうか。</p> <p>（区側） 記載が不十分の可能性があり、見直したい。</p> <p>（委員） 今の点について、事業者のみではなく、様々な活動をしている団体との協働についても併せて取り組んだ方がよいのではないか。その点についても検討してここに入れていただければありがたい。</p> <p>（区側） ご意見を踏まえてどのようにするのがよいか検討したい。</p> <p>（委員） 課題別の指標を再掲するのはよいと思うが、記載する位置は各課題（中項目）の前書きの直後がよいのではないか。例えば、課題1-1では、前書きの次にグラフがあり、その後に指標が再掲されているが、グラフの前に指標を再掲するのがよいと思う。他の項目についても同様の位置にした方が見やすいように感じた。</p> <p>（区側） 指標の再掲位置をグラフの後にしたのは、本文でグラフの数値を引用</p>

	<p>している部分があるためである。位置を変更して見て見やすくなるようであれば、変更したい。</p> <p>(委員) 各事業の担当欄について、担当課が複数の場合に現行計画では句読点で句切っていなかったが、次期計画案では句読点で句切られており、その点が気になった。</p> <p>(区側) 特に重視した点ではないため、削除する方向で修正したい。</p> <p>(委員) 概要版について、表紙に記載された基本理念に「対象となるのは全ての区民、在勤・在学者」とあるが、条例上の規定は「区民は、国籍、性別等又は年齢にかかわらず、この条例に定める権利を有すること。」となっており、そのような内容に訂正した方がよい。対象となるのが区民、在勤・在学者であるという内容は、書くとしたらページの下の方に書くなどでよい。あと、「教育の場でも推進する」は何を推進するのか分からないため、長くはなるが男女平等・共同参画と性の多様性の尊重を推進するという内容を記載した方がよい。記載の順番についても、条例の規定された順番に合わせて記載する方がよいのではないか。</p> <p>(区側) 少しでも簡単で分かりやすくと考えて作成したが、ご意見を踏まえて見直したい。</p> <p>(委員) 概要版P2「計画改定の理由」について、新型コロナウイルス感染症の影響も改定の理由になるのだろうか。</p> <p>(区側) 新型コロナウイルス感染症の影響については、理由ではないため、タイトルを修正したい。</p> <p>(委員) SDGsは政府が取り組んでいることだが、区としても取り組むというスタンスでよいか。</p> <p>(区側) 現在、区では来年度から開始する基本計画の策定も進めているが、その中でSDGsとの関連を柱の一つと位置付けており、その関連性から本計画にも記載している。その点分かるよう概要版P2の記載を見直したい。</p> <p>(委員) 概要版P3「計画の全体像」について、課題1-1、1-3、2-1が区の「女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画」という位置付けであり、課題3-2が「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本的な計画」の位置付けであるが、現在の図ではそのことが少し分かりにくいので、ページの下の部分に文章で記載した方が分かりやすいのではないか。</p> <p>(区側) 計画案本体ではそのように記載している。概要版についても、ご意見を踏まえて修正したい。</p> <p>(委員) 概要版P3「改定の理由」の部分は、タイトルを「改定の背景」にすれば分かるようになるのではないか。</p> <p>(委員) 計画案について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P2「性の多様性」の解説については、他の自治体のものを参考にするなどしてもう少し丁寧に解説してもよいのではないか。この後、計画を通じて取り扱う内容であるため、ここは重要であると感じた。
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> • P 3 「国における動き」について、セクハラ防止法にSOGIハラが加えられたことと、パワハラ防止法に定義としてSOGIハラやアウティングが加えられたことが大きかったので、セクハラ、パワハラの中にLGBTQが位置付けられたことは記載した方がよい。 また、政府が孤独・孤立に関する計画を策定したが、その中に女性やLGBTも位置付けられているため、そのような施策についても触れられるのではないか。 • P 8 について、LGBTの記載を「LGBT」、「LGBTQ」、「LGBTQ+」にするかというのが一つの論点である。他の自治体では、例えば、明石市では「LGBTQ+」にしており、昨今では「LGBTQ」としている自治体も増えている。他の資料等との整合性の問題もあると思うが、一考の余地がある。 • 「性の在り方が典型的ではない人」という表現は、学術的には使われる言い方であるが、パブリックコメントでも「典型的」という表現がよくないのではないかという意見もあったことを踏まえると、この部分も修正について検討の余地がある。同様に、トランスジェンダーの説明にも少し一般的ではないものが含まれているため、再考の余地がある。 • P 8 新型コロナウイルス感染症による影響については、5年間の計画であるため、どこまで記載するか迷いどころではあると思うが、コロナによって女性の自死率や困窮率が上がっており、LGBTQも困窮率や孤立が増えている。そのため、この部分をもう少し深めてもよいと感じた。 • 課題別の指標のうち、課題3-5「LGBTへの配慮を意識して行動している人の割合」について、他自治体等ではあまり見ない指標だが、参考にされたものはあるだろうか。独自の指標を設けることに問題はないが、現在の指標だと調査対象への聞き方、答え方が難しい印象である。他の自治体を参考にしてもよいと思う。 • P 3 1 課題1-5「防災における男女平等・共同参画の推進」について、説明文にはLGBTの記載があるが、小項目にはLGBTQの記載がない。この部分に記載を追加するか、性の多様性の尊重に関する課題3-5に小項目を設定するかしないと、本計画上防災の視点にLGBTQの視点が反映されないことになってしまうのではないか。 • P 3 8 課題2-3「子育て支援の充実」について、多様な家族、多様な子育てという観点で考えたとき、既に目黒区でも同性カップルが子育てをしているという状況があるため、そのような家族についての記載がないことは再検討をお願いしたい。 • P 4 9 課題3-3「女性への暴力やハラスメントの根絶」について、SOGIハラに関する記載がないことやハラスメントの根絶の中に位置付けられていないことは再考していただきたい。 • P 5 3 課題3-5「性の多様性を尊重する意識の醸成とLGBT支
--	---

援」について、ここ数か月で状況が大きく変わっており、来年度には東京都がパートナーシップ制度を導入することを発表している。東京都が発行した証明書を持つ区内の同性カップルがいることを前提とし、区での証明書の発行をするかのみではなく、証明書を持つ同性カップルを区としてどのように取り扱うかということが検討課題になる。東京都は来年度の早い段階から制度を開始する可能性があり、区としても議論を早める必要がある。

- ・ P 5 4 区職員の理解促進は重要だが、例えば L G B T Q には障害福祉、困窮、就労支援等の区の窓口が安全に使えない状況がある。L G B T Q の 7 7 % が行政・福祉サービス利用においてハラスメントを経験しているため、理解促進にとどまらず、区の各窓口の連携をしっかりとっていただくような施策を進める必要がある。

(委員) 今の意見には、条例を制定しなければならない項目がかなり含まれていたように思うが、それはつまり政治的な意思決定が前提になる。政治的な意思決定を促すような形でこの推進計画に書き込むのは適切ではないのではないか。審議会として一定の方向性を持って政治的な意見を表明するののかについては議論すべき問題であると思うが、推進計画のレベルでそれを盛り込むかどうかについては、慎重であるべきだと思う。

(委員) 先程発言した内容について条例の制定が必要なものは基本的になく、パートナーシップ制度についてもほとんどの自治体では要綱で実施している。審議会として意思決定するというのではなく、一つの意見として参考にしていただきたい。

(委員) 先程の意見はいずれも具体的な内容であったため、区に検討を促すというよりも、このようにした方がよいという形で意見を述べないと、考慮してほしいという意見の仕方では時間に制約がある中で区が対応に困るのではないか。この部分をこのようにするのはどうかという意見であれば、検討はしやすい。

要綱で実施するか条例を制定するかについては、他の自治体ができるから目黒区でもできるというわけではなく、どのような形で定めるかは目黒区の政治的な判断により、一概には言えない。

(区側) P 2 性の多様性の注釈については、書き換えを考えたい。国における動きの中に S O G I ハラを記載することについては、ハラスメントの項目の中で説明することも含めて少し検討したい。

(委員) 個人的な意見だが、この計画は 5 年間の区の計画を定めるもので、男女平等・共同参画と性の多様性のことが両方書かれたものだが、どちらにウエイトを置くかというのは重要な判断になる。5 年間で何をするのかについて定めるのがこの計画であり、国や都の施策で望ましいものがあればそれはそのとおりだが、審議会は区として何をするのかについて提言するのであり、国の施策としてこうあるべきであるということを区も認めるべきだということに記載しても意味がないと思う。

(区側) 可能な範囲での反映はあり得ると考えているが、施策に及ぶ部分は現

時点では原案を作った後であるため、修正できる部分とできない部分はある。修正できる部分は反映していきたいと考えているが、施策に取り入れていく必要があるものについては、もう一度一から議論しなければならないものもある。そのため、意見について検討はするが、全てが反映若しくは趣旨に沿った内容で反映できるわけではない。今回は一定程度作り込んだ後の段階であるため、現在の案を前提にした上で時間をかけてでも検討すべき点があればそのように取り組むが、この段階から施策レベルで反映することが難しいことはご理解いただきたい。ただ、今後も誰もが生きやすい社会の実現に向けて様々な取組を進めていきたいと考えており、ご協力をお願いしたい。

(委員) 概要版P3「計画の全体像」について、「New!新たに項目化」と記載があるが、計画案では「重点課題」など、「課題」に表記を修正しているので、この部分についても「課題化」とした方がよいのではないか。

(区側) 表記を修正したい。

3 その他

人権政策課長が次の内容について説明。

○今後の予定

- ・庁内での会議を経て、2月末に区議会に報告
- ・2月中に計画を決定
- ・公表は3月
- ・製本された計画書は3月末頃納品

○令和4年1月から男女平等・共同参画センターにおいてLGBT相談を試行実施していることを情報提供

最後に、現在の任期期間中に開催する審議会は今回が最後の予定であるため、各委員が一言ずつコメントした。

4 閉会

以 上